

農業環境技術研究所報告 35号 表紙・目次・奥付

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-12-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://repository.naro.go.jp/records/3141

農業環境技術研究所報告

第 35 号

目 次

研究資料	福島第一原発事故後の農地土壌における放射性セシウム濃度データ セット(2011-2014年).....	神山 和則・高田 裕介.....1 小原 洋・齋藤 正明 大越 聡・谷山 一郎
研究資料	福島第一原発事故後の福島県内農地における浅層地下水中の放射性 物質濃度.....	木方 展治・谷山 一郎.....103 佐藤 睦人
研究資料	世界土壌資源報告：要約報告書.....	高田 裕介・和颯 朗太.....119 赤羽 幾子・板橋 直 レオン 愛・米村正一郎 白戸 康人・岸本(莫)文紅 長谷川広美・八木 一行

農業環境技術研究所報告 第35号

審査会

BULLETIN OF NATIONAL INSTITUTE FOR
AGRO-ENVIRONMENTAL SCIENCES

No.35

EDITORIAL BOARD

委員長	井 手 任	研究統括主幹
Chairman	Makoto Ide	Principal Research Director
副委員長	與 語 靖 洋	研究コーディネータ
Vice Chairman	Yasuhiro Yogo	Principal Research Coordinator
委 員	廉 沢 敏 弘	広報情報室長
Editors	Toshihiro Kadosawa	Head, Public Relations and Information Office
	西 田 智 子	企画戦略室長
	Tomoko Nishida	Head, Research Planning Office
	坂 爪 栄 二	財務管理室長
	Eiji Sakatsume	Head, Accounting Office
	鳥 谷 均	生態系計測研究領域長
	Hitoshi Toritani	Director, Ecosystem Infomatics Division
	大 谷 卓	有機化学物質研究領域長
	Takashi Otani	Director, Organochemicals Division
	藤 井 毅	生物生態機能研究領域長
	Takeshi Fujii	Director, Environmental Biofunction Division

掲載論文等については、農業環境技術研究所ウェブサイト内でも公開いたしますので、併せてご利用くださるようお願いいたします。

[トップページURL] <http://www.niaes.affrc.go.jp/>

(目的)

第1条 この要領は、国立研究開発法人農業環境技術研究所（以下「研究所」という。）が発行する農業環境技術研究所報告（以下「報告」という。）に投稿する論文に関し、その取扱いを定める。

(掲載論文等の定義)

第2条 報告に掲載することができる論文は、別に定める独立行政法人農業環境技術研究所図書・刊行部会運営要領第4条に定める審査会で掲載が承認された以下のものとする。

- 一 原著論文 未発表の原著論文
- 二 学位論文 学位論文を主体とした論文。学位論文である旨を付記する。
- 三 資料 農業環境に係わる解説・総説、調査、海外の有益情報の翻訳等

(著者)

第3条 論文の筆頭著者（以下「著者」という。）は、研究所職員（元研究所職員を含む。）に限る。ただし、共著者は、研究所外の者を含めることができる。

(言語)

第4条 論文は、原則として日本語又は英語とする。

(著作権)

第5条 論文の著作権については、国立研究開発法人農業環境技術研究所知的財産権基本方針により、研究所に帰属するものとする。

(電子化)

第6条 掲載論文は、電子媒体に変換の上、外部に提供を行うものとする。

(提出)

第7条 論文を提出する場合は、原稿（紙媒体に出力したもの）に表題、著者等名、所属及び柱を記載した表紙に投稿票（別紙様式）を付し、著者の所属する又は所属した研究領域又はセンターの長等の校閲を受けたうえ、審査会事務局（以下「事務局」という。）に提出するものとする。

なお、提出に当たっての出力は以下に準ずるものとする。

和文 25字×22行 又は 25字×44行×2段

英文 41行（フォント10p 一段組）

(論文の執筆)

第8条 論文の執筆に当たっては、原則として一般的に使用されるワードプロセッサを用いることとし、電子ファイルの事務局への提出は、査読が終了し、審査会において正式受理されてからとする。

なお、執筆に当たっては別に定める国立研究開発法人農業環境技術研究所報告執筆要領による。

(論文の査読)

第9条 事務局は、審査会において選定した査読者に、論文等の査読を依頼する。

2 査読を依頼する場合は、国立研究開発法人農業環境技術研究所謝金支出基準（13農環研第81号）に基づき謝金を支払うことができる。

(論文受理年月日)

第10条 論文の受理年月日は、査読が終了し審査会が掲載を承認した日とする。

(校正)

第11条 校正は、原則として三校まで行うこととし、著者校正は初校ないし二校までとする。

(別刷の印刷)

第12条 著者が別刷を希望するときは、あらかじめ事務局に連絡することとする。なお、印刷に必要な経費は、研究領域等で負担する。

附 則

この要領は、平成27年4月1日から施行する。

本誌から転載・複写する場合は、当所の許可を得てください。



農業環境技術研究所報告第35号 平成28年3月31日発行

発行 国立研究開発法人
農業環境技術研究所 発行者 理事長 宮下 清貴

〒305-8604 茨城県つくば市観音台3-1-3

電話 029-838-8192（広報情報室）

印刷 株式会社いなもと印刷

〒300-0007 茨城県土浦市板谷6丁目28-8

BULLETIN
OF
NATIONAL INSTITUTE FOR AGRO-ENVIRONMENTAL SCIENCES

(Nogyo Kankyo Gijutsu Kenkyusho Hokoku)

No. 35

March, 2016

CONTENTS

RESEARCH NOTE

Kazunori Kohyama, Yusuke Takata, Hiroshi Obara, Masaaki Saito,
Satoru Ohkoshi and Ichiro Taniyama

Data sets for radioactive cesium concentration from 2011 to 2014
in agricultural soil after the accident at the Fukushima Dai-ichi
Nuclear Power Plant 1

RESEARCH NOTE

Nobuharu Kihou, Ichiro Taniyama and Mutsuhito Sato

Concentration of radioactive materials of shallow groundwater in
farmland of Fukushima Prefecture after the Fukushima Daiichi
Nuclear Power Plant Accident 103

RESEARCH NOTE

Yusuke Takata, Rota Wagai, Ikuko Akahane, Sunao Itahashi, Leon Ai,
Seiichiro Yonemura, Yasuhito Shirato, Ayaka W. Kishimoto-Mo, Hiromi
Hasegawa and Kazuyuki Yagi

Status of the World's Soil Resources (SWSR)- Technical Summary
..... 119

National Institute for Agro-Environmental Sciences

Kannondai, Tsukuba, Ibaraki 305-8604

JAPAN